

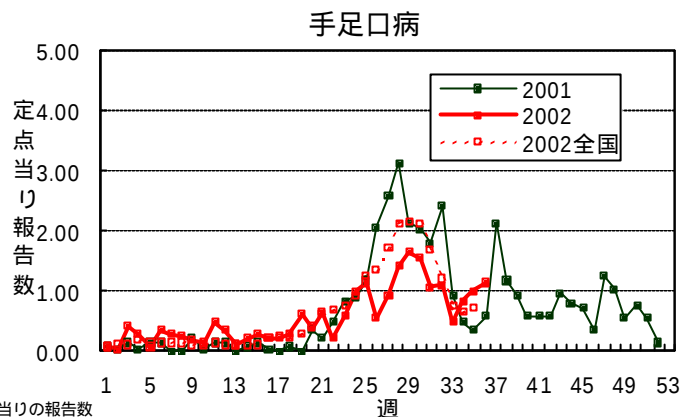
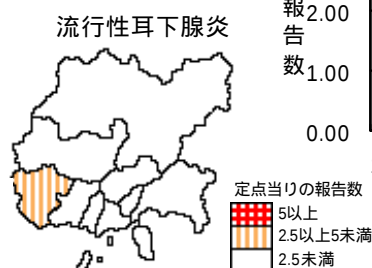
コメント

1.手足口病

定点当り1.13人とやや増加しています。西区2.67人となっています。

2.流行性耳下腺炎

定点当り1.04人と減少しています。佐伯区2.67人となっています。



4 類感染症報告状況 (定点把握対象分)

疾病名	報告数	定点当り	前年同期	発生記号	疾病名	報告数	定点当り	前年同期	発生記号
インフルエンザ	-	-	-		麻疹(注1)	-	-	0.26	
咽頭結膜熱	4	0.17	-		流行性耳下腺炎	25	1.04	0.43	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	0.33	0.91		急性出血性結膜炎	-	-	-	
感染性胃腸炎	44	1.83	1.57	↘	流行性角結膜炎	9	1.13	1.63	
水痘	13	0.54	0.30	↓	急性脳炎(注2)	-	-	0.14	
手足口病	27	1.13	0.57	↗	細菌性髄膜炎	-	-	-	
伝染性紅斑	1	0.04	0.61		無菌性髄膜炎	2	0.29	0.29	
突発性発疹	23	0.96	1.09		マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.29	
百日咳	-	-	-		クラミジア肺炎(注3)	-	-	-	
風疹	-	-	-		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	4	0.17	0.35						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.1.5～2の増減
微増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.1.1～1.5の増減
横ばい	→		殆ど増減なし

一時的な変動と考えられる場合は、前週との比較ではなく傾向を示しています。また報告数が少なく傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 37 (小児科定点含む)
小児科定点数 24
眼科定点数 8
性感染症定点数 9
基幹定点数 7

(注1) 成人麻疹を除く
(注2) 日本脳炎を除く
(注3) オウム病を除く

1 類～4 類感染症報告状況 (全数把握対象分)

類型	疾病名	報告数	累積	備考
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	9	安佐北区・女性(12歳)・O157
4	急性ウイルス性肝炎	1	3	男性(17歳)・B型

4 類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

			インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	風疹	ヘルパンギーナ	麻疹（注1）	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	急性脳炎（注2）	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（注3）	成人麻疹
報告数	広島市	第34週	-	3	10	55	18	20	1	24	1	-	11	-	45	-	19	1	-	3	2	-	-
		第35週	-	6	18	55	26	24	1	30	-	-	6	-	42	-	16	1	-	3	1	-	-
		第36週	-	4	8	44	13	27	1	23	-	-	4	-	25	-	9	-	-	2	2	-	-
定点当り	広島市	第34週	-	0.13	0.42	2.29	0.75	0.83	0.04	1.00	0.04	-	0.46	-	1.88	-	2.38	0.14	-	0.43	0.29	-	-
		第35週	-	0.25	0.75	2.29	1.08	1.00	0.04	1.25	-	-	0.25	-	1.75	-	2.00	0.14	-	0.43	0.14	-	-
		第36週	-	0.17	0.33	1.83	0.54	1.13	0.04	0.96	-	-	0.17	-	1.04	-	1.13	-	-	0.29	0.29	-	-
	広島県	第34週	-	0.32	0.45	2.59	0.55	1.36	0.03	1.16	0.05	0.01	0.55	0.01	1.29	-	1.75	0.05	-	0.14	0.33	-	-
		第35週	-	0.23	0.57	2.52	0.57	1.88	0.07	1.21	-	-	0.53	0.03	1.08	0.10	1.55	0.05	-	0.19	0.19	-	-
	全国	第34週	0.01	0.16	0.33	2.10	0.64	0.65	0.19	0.88	0.01	0.01	0.89	0.05	1.03	0.02	1.53	0.00	0.00	0.19	0.22	0.02	0.01
第35週		0.01	0.12	0.38	2.07	0.56	0.73	0.25	0.94	0.01	0.01	0.72	0.04	0.83	0.04	1.47	0.01	0.02	0.12	0.18	0.01	0.02	

(注1)成人麻疹を除く (注2)日本脳炎を除く (注3)オウム病を除く

新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者 年齢	性別	住所	発症 年月日	検査材料	検出病原体
咽頭結膜熱	5	男	東区	2002/07/23	咽頭拭い液	アデノウイルス3型
咽頭結膜熱	3	男	東区	2002/07/28	咽頭拭い液	アデノウイルス3型
無菌性髄膜炎	10	女	東区	2002/07/26	髄液	コクサッキーB3型
無菌性髄膜炎	3	男	東区	2002/07/29	髄液	エコーウイルス13型
無菌性髄膜炎	2	男	南区	2002/08/01	髄液	ムンプスウイルス
無菌性髄膜炎	0	男	佐伯区	2002/08/03	咽頭拭い液、髄液、糞便	コクサッキーB2型
無菌性髄膜炎	0	男	東区	2002/08/06	髄液	エコーウイルス25型
咽頭炎	5	女	東区	2002/07/12	咽頭拭い液	コクサッキーB3型
咽頭炎	3	男	東区	2002/07/26	咽頭拭い液	アデノウイルス3型
咽頭炎	3	男	東区	2002/08/01	咽頭拭い液	アデノウイルス3型
咽頭炎	2	女	安芸区	2002/08/02	咽頭拭い液	単純ヘルペスウイルス1型
滲出性扁桃炎	5	男	東区	2002/07/23	咽頭拭い液	アデノウイルス3型
不明(胃腸炎、髄膜炎)	13	男	佐伯区	2002/07/28	咽頭拭い液、糞便	エコーウイルス13型
不明(発熱)	0	男	西区	2002/07/30	髄液、糞便	エコーウイルス13型

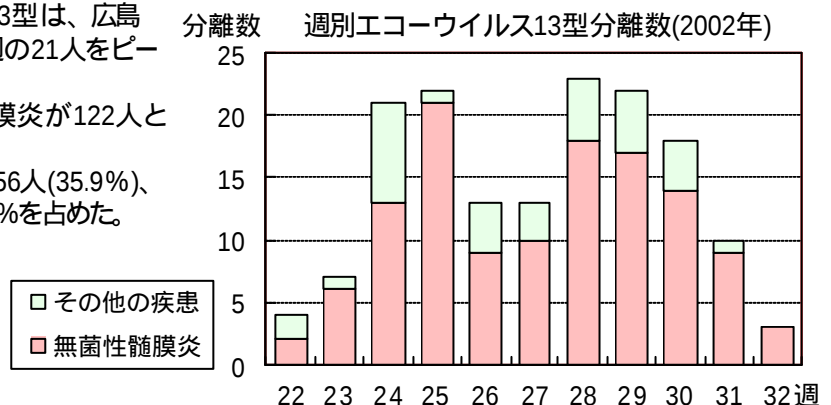
(検査情報) 広島市におけるエコーウイルス13型分離数の推移

全国的に流行しているエコーウイルス13型は、広島市では第22週に初めて分離され、第25週の21人をピークに第32週までに156人から分離された。

分離陽性者の臨床診断名は無菌性髄膜炎が122人と最も多く8.2%をしめた。

患者の年齢分布は0～16歳で、0～4歳56人(35.9%)、5～9歳69人(44.2%)と、10歳未満が約80%を占めた。

男女比は1.55で男性が多かった。



本週報は、インターネットでもご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

なお、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

この情報の詳細に関するお問い合わせ先

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号

TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2002年第36週(9月2日～9月8日)